

(表)

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 20 年 6 月 30 日

(報告先)  
横浜市長

報告者 住所 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1  
氏名 国立大学法人横浜国立大学  
学長 飯田 嘉宏

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第2項の規定により地球温暖化を防止する対策の実施の状況を報告します。

事業所の名称	国立大学法人横浜国立大学	
事業所の所在地	横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	
地球温暖化対策 の実施年度等	実施年度	平成 19 年度
	地球温暖化対策 計画の計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 19 年度
連絡先	施設部 施設企画課 施設企画係 担当者氏名 田崎 利代子 (電話 045-339-3085 FAX 045-339-3099 ) (E-mail shi-kikaku.kikaku@nuc.ynu.ac.jp )	
※ 受付欄  (地球温暖化対策計画受付番号)		

(注意) ※印の欄には記入しないでください。

(A 4)



(裏)

地球温暖化対策の実施状況				
実施年度の 温室効果ガス 排出量	ガスの種類	排出量 (二酸化炭素換算 単位：トン)		基準年との増減 (単位：トン)
	二酸化炭素	8,766		-582
	メタン	_____		_____
	一酸化二窒素	_____		_____
	HFC	_____		_____
	PF <sub>6</sub>	_____		_____
	SF <sub>6</sub>	_____		_____
	合計	8,766		-582
※ 温室効果ガスの 排出の抑制に 係る目標の 達成状況	温室効果ガス排出量の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン)			
	基準年度の排出量	目標値	削減率	達成状況
	_____	_____	_____	_____
				%削減
	温室効果ガス排出原単位の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン又は kg)			
	指標	基準年度の 原単位排出量	目標値	削減率
単位面積 (m <sup>2</sup> ) 当たり	49.8	48.3	6%削減	達成
※ 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の達成状況			別添とする	
地球温暖化対策の実施状況の公表の方法				
大学ホームページにて公表する。 <a href="http://www.jmk.ynu.ac.jp/gakugai/shisetsu/5kan_mane/ondanka/ondankataisaku.html">http://www.jmk.ynu.ac.jp/gakugai/shisetsu/5kan_mane/ondanka/ondankataisaku.html</a>				
その他地球温暖化を防止する対策の実施に関する事項				
_____				

(注意) ※印の欄は計画期間の最終年度の実施状況を報告する場合に記入してください。

## 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の達成状況

- 実施年度（平成19年度）における「指標の数値」  
「指標の数値」 = 188,082 m<sup>3</sup>（延床面積）
- 「実施年度（平成19年度）の温室効果ガス排出量」 / 「指標の数値」  
= 8,766,000 (kgCO<sub>2</sub>) / 188,082 (m<sup>3</sup>)  
= 46.6 (kgCO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>)
- 達成状況

実施時期	内 容	達成状況
通 年	「省エネルギーに関する委員会」を学内7ブロックに設置し 四半期ごとに使用量を把握し省エネに関する自己点検評価 を行う	実施
通 年	夏季の契約電力超過が予想される場合、廊下の消灯及び空調 機の停止等のお願いを電話やメール等にて行う	実施
通 年	事務局等において夏季一斉休業を行う  約 4,200kwh 削減	実施
平成18・19年度	省エネシールやポスターを作製し、全学への省エネ啓蒙活動	実施
通 年	夏季、学内トイレのウォームレット便座のスイッチを切る	実施

## 温室効果ガス排出量の算定方法

本学の温室効果ガスの排出量は「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」(試案ver1.5)平成15年7月環境省地球環境局に基づき、「活動量」に「排出係数」を乗じて排出量を算定する。

対象団地:常盤台団地

期間:平成19年度実績

### 1. 平成19年度の各エネルギー使用量等

名称	使用量	備考
電気	1,714.8万kwh	
都市ガス	550,808Nm <sup>3</sup>	一般・GHP (Vi)
灯油	464KL	暖房用ボイラ
ガソリン	4.7KL	公用車

建物延面積:188,082m<sup>2</sup>

### 2. 共通活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量算定

#### 1) 電気 算定式

$$\text{排出量(kgCO}_2\text{)} = \text{電気使用量(KWH)} \times \text{排出係数(kgCO}_2\text{/KWH)}$$

$$6,481,944 = 17,148,000 \times 0.378 /$$

#### 2) 都市ガス 算定式

$$\text{排出量(kgCO}_2\text{)} = \text{都市ガス使用量(Nm}^3\text{)} \times \text{単位発熱量(MJ/Nm}^3\text{)} \times \text{排出係数(kgCO}_2\text{/MJ)}$$

$$1,117,053 = 529,803 \times 41.1 \times 0.0513 /$$

$$\text{都市ガス使用量(Nm}^3\text{)} = \text{Vi(Nm}^3\text{/年)} \times 273 / (273 + \text{Ti}) \times 1.02 \quad \text{Ti} = \text{年間平均気温}$$

$$529,803 \text{Nm}^3 \text{ (都市ガス使用量)} = \text{Vi(Nm}^3\text{/年)} \times 273 / (273 + 16.5) \times 1.02$$

#### 3) 灯油 算定式

$$\text{排出量(kgCO}_2\text{)} = \text{使用量(L)} \times \text{単位発熱量(MJ/L)} \times \text{排出係数(kgCO}_2\text{/MJ)}$$

$$1,156,256 = 464,000 \times 36.7 \times 0.0679 /$$

#### 4) ガソリン 算定式

$$\text{排出量(kgCO}_2\text{)} = \text{使用量(L)} \times \text{単位発熱量(MJ/L)} \times \text{排出係数(kgCO}_2\text{/MJ)}$$

$$10,912 = 4,700 \times 34.6 \times 0.0671 /$$

### 3. 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量

$$8,766,165(\text{kgCO}_2)$$

### 4. 単位面積あたりの排出量

$$46.6(\text{kgCO}_2\text{/m}^2) = 8,766,165(\text{kgCO}_2) / 188,082(\text{m}^2)$$